

はじめに

私は現在4人の母であり、クリニックのパートで働きながらアニマルコミュニケーションーター兼インナーチャイルドカードセラピストとして活動しております。

2015年の春、アニマルコミュニケーションという言葉を知ってから、私はどうぶつさんへの見方が、どんどん変わり始めました。

私がここで「どうぶつさん」と書かせていただくのは「動物」動く物という表現が嫌だからです。どうぶつさんは動く物ではないのです。個々に命があります。だから私はあえて「どうぶつさん」と以後、書かせていただきます。

もしアニマルコミュニケーションという言葉を知らなくて彼らの声を聞くことができないでいたのなら、私は今ここで「動物」と書いているでしょう。

人間と共存しているペットちゃんと、野生のどうぶつさん、生き方に違いはあれど私は彼らにいつも敬意を払っております。

この本を手に取りられた方はきつとアニマルコミュニケーションって何？ アニマルコミュニケーションターってどんな人？ どうぶつさんの世界って？ と思われてご興味をお持ちくださっていると幸いです。この本ではペットちゃんや野生の子たちの声を聞きたいいくつかのことをお話ししていきます。

2020年に私は離婚をしましたが、以前住んでいたお家にはミニチュアダックスフンドのアーロンとルイがおり、後に雑種猫の福が家族の仲間入りをしました。

アーロンとルイは、とても穏やかな仲の良い2匹でした。私にとつてわんちゃんを飼うのは初めてで、1つ1つが初めての経験でした。毎日がとても楽しくて、賑やかに過ごしておりました。そんな楽しく過ごしていたある日、たまたま幼稚園のママ友たちの紹介で、近所の美容室に行きました。その美容室に行ったことがきっかけでアニマルコミュニケーションの世界の扉が開き始めたのです。店長さんと楽しく子どものことやアーロンとルイのことを話していたら、隣で手の空いた女性のスタッフさんが私に声をかけてきました。

「わんちゃんを飼ってらっしゃるのですね」と気さくに私に話しかけてきました。そして続けて「実は私ね、犬猫の気持ちがわかる人の所へ今度友達と行くんですよ！」と笑顔でお話しくれました。

それを聞いていた私は心の中で「ほんまにそんな人おるんかな？」と半信半疑でしたが、その女性スタッフさんのお話を興味深く聞いておりましたら、だんだんと首を突っ込んでいる私がいいたのです。

それから私は自宅に帰った後、スマホを片手に【犬の気持ち】【犬の声】など、いろいろ検索し続けました。すると、ある言葉が出てきたのです!! それが【アニマルコミュニケーション】だったのです。このアニマルコミュニケーションという言葉を知ったのをきっかけに、私の人生がガラリと変わっていったのです。

今まで何も感じなかった世界、ペットちゃんたちや野生のどうぶつさんたちの世界観を見たり、聞いたり、感じたりできるようになり、自身の捉え方や考え方が変わったからなのです。

その体験や彼らの生き方などを、この本で皆様にお伝えし読み終えたとき、あなたとお家のペットちゃんがより深い関係になられることを心から願います。

